

一般質問

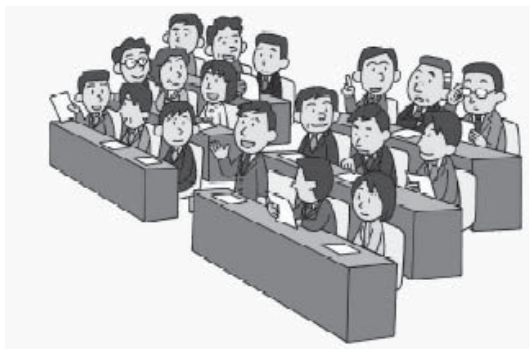
市政全般に関する一般質問は6月5日、8日、9日、10日の計4日間にわたって行われ、17人の議員が133項目に及ぶ質問をしました。

その主なものは次のとおりです。

『一般質問』

一般質問は、提案された議案に対して説明や所見を求め「議案質疑」とは違い、市長等の執行機関が行う行政全般に対し、事務の執行状況や将来における政策方針などについて疑問をただしたり、報告や説明を求めたりするものです。

また、一般質問は定例会でのみ認められるもので、臨時会では行われません。



問 答

6次産業化・観光を加味した農業振興を図るべきでは
新しい視点、あらゆる角度から積極的に検討したい



森 議員

【議員】

本市は、県の銘柄指定を受けている「梨」及び「こだますいか」が有名であるが、労働に見合う収入、天災、後継者問題等で農業従事者は漸減傾向の状況である。このようなか、農産物の6次産業化観光を加味した地域政策も考慮した農業の振興を図るべきではないか。

【経済部長】

「梨」及び「こだますいか」など、果樹・園芸対策について、果樹・園芸農家を支援育成する国・県の事業を積極的に活用しながら各種施策を展開している。しかしながら、昨今の農業従事者の高齢化や耕作放棄地の増加などの対応新たな時代のニーズに即した農産物のブランド化及び6次産業化による農業政策への取り組みが喫緊の課題であることは十分認識している。特に県の銘柄産地指定を受けている「梨」及び「こだますいか」

は、本市を代表する農産物であるので、新しい視点、あらゆる角度から積極的に検討したい。なお、市農産物ブランド化推進委員会（仮称）を立ち上げ、農業政策の一環として、市の知名度アップ、魅力度アップにつなげ6次産業化の推進にも力を注いで、地域のまちづくりを視野に入れた政策を展開してまいりたい。



他の質問

- ▼まち・ひと・しごと創生について
- ▼米価下落対策について
- ▼元せきじょう味覚センター（ペアシヨップ）の活用について

問 小中一貫教育のモデル校を明野中学校区へ
答 早急に総合教育会議を開催し決定したい



仁平議員

【議員】本市の学校校舎は改築や耐震補強により安全が確保されていることから、小中一貫教育に取り組む際は施設分離型とし、明野中学校区をモデル校として設定してはどうか。

【市長】少子化を考えると小中一貫教育は進める考えである。今後いろいろな方の意見を聞いて、前に進めていきたいと思っているが、明野中学校区もその一つかと思っている。

【教育長】小中一貫教育の基本方針の中でモデル校の設定についても協議をしていきたい。学校の在り方検討委員会からも意見をいただきながら設定していきたい。

【議員】全国的にも小中一貫教育のさまざまな成果や利点というものがデータとして上がっている。本市で実施した学校教育懇談会のアンケートの結果

で明野中学校区では、「小中一貫教育についてよく理解できた」が43・8%、「導入すべき」が93・8%で7つの中学校区で断トツであった。明野中学校区の5小学校は合同宿泊学習を実施しており、横の連携も非常にスムーズに行っている例もある。そのような観点も含めて、国でも小中一貫教育を進めていることから、他の市町村におくれをとらないよう進めていく考えは。

【市長】総合教育会議を早急に開催し、決定していきたい。



グラウンドから見る明野中学校校舎

他の質問
 ▼住宅取得応援事業について
 ▼企業誘致政策について

問 新中核病院の診療科目は今後どのようなにまとめるのか
答 第3回公立病院等再編整備推進協議会で再度協議する



鈴木議員

【議員】5月27日に開催された筑西・桜川地域公立病院等再編整備推進協議会では、新中核病院の診療科目について、はつきりとしたものが決まらなかつたと聞いている。今後どのようににまとめていくのか。病院の建設場所は筑波街道と筑西幹線道路の交差する場所と間違いないか。また、これからの病院建設はローコストであることが求められているがどうか。

【市長】3月27日と5月27日の2回、筑西・桜川地域公立病院等再編整備推進協議会が開かれた。第1回の会議では地域の医療機関との機能分担、連携を明確にすることが重要であること、救急搬送は3次医療機関に多く搬送されている状況であるのでこれを軽減し、2次医療まで完結すること、建築はローコストで行い、自治体になるべく負担をかけないよう

うに等の意見があった。第2回の会議では新中核病院が250床、桜川市立病院は120床との意見があった。診療科目については結論が出なかつたため、第3回の会議で再度協議してまいりたい。建設場所については、今回ははつきり筑西幹線道路沿いの養蚕地区であることを示した。



他の質問
 ▼空き家対策について
 ▼公共施設の統廃合問題について
 ▼安全保障関連法案について

問 人口減少・定住促進対策の進捗状況は
答 定住促進対策推進本部を設置して進めている



藤澤議員

【議員】

我が市の人口減少は恐ろしいほどのスピードで加速しており、消滅可能性都市としてもはやレットゾーンに突入するかのとき勢いである。そこで、我が市の人口減少・定住促進対策について、進捗状況と今後の取り組みについて伺いたい。

【企画部長】

昨年7月に「筑西市人口減少・定住促進対策推進本部」を設置し、「若者・子育て世代住宅取得応援事業」や婚活支援としての「未来の幸せ家族応援事業」、雇用や企業マッチングを促進する「就労支援・企業情報発信事業」などを現在実施している。また、まち・ひと・しごと創生人口ビジョンを8月末、総合戦略を10月末を目途に進めてまいりたい。

【議員】

新たな就業場所の創造、企業誘致の展望について伺いたい。

【副市長】

本市の企業誘致の取り組みとしては、新たな工業団地を造成すべく造成候補地2か所のうち早期に事業実施が可能なら「つくば明野北部工業団地周辺」から優先的に、地権者の方々の意向確認を進めている。また、市内工業団地内の未利用地に進出を希望する企業に対し、「産業用地等買取制度」の活用を図るなどの取り組みも行っている。



他の質問

- ▼ 空き地・空き家対策について
- ▼ 地域総合防災計画について
- ▼ 教育行政について
- ▼ 下館運動公園について
- ▼ 選挙の投票率について

問 女性の声を社会に反映させる取り組み策は
答 審議会委員などに30%の女性登用をめざす



小倉議員

【議員】

市には審議会など多くの外郭団体がある。これら審議会や市が主催するイベント等の企画部門に女性を積極的に登用する考えはあるか。次に、女性は仕事と家事の両立が困難なため約40%は昇進を望まないとの調査結果がある。女性が昇進試験を受け活躍したいと思える職場環境づくりや、出産・育児への支援整備など、市が民間企業のお手本となる制度に取り組んではどうか。

【市長】

本市は平成23年9月に「男女共同参画都市」を宣言し、男女共同参画基本計画に基づき各種事業に取り組んでいる。その1つに、政策・方針を決定する場への女性の登用率を設けている。当初19.5%であったが登用率は25.9%に向上した。道の駅整備推進協議会は17人中6人(35.3%)の女性にお願いする予定だ。女性ならではの視点もあり、

平成31年度までには30%を目指したい。次に、市の女性管理職員の割合は、昨年度は9%、今年度は14%と向上させた。平成31年度までに20%を目指し、能力ある職員は男女を問わず積極的に登用してまいりたい。



他の質問

- ▼ 女性が社会進出するためのサポートについて
- ▼ 不妊治療について

【議員】
誰もが、ある日突然、ひとり親世帯、病気、社会情勢の変化等により世帯収入が減少し貧困世帯に陥る可能性がある。また、貧困世帯に育った子供は再度貧困になる確率が高くなるという現実もある。このことは、本人はもとより社会にとつても大きな損失となる。そこで、経済的理由で学習意欲を失い授業についていけない子供のために、無償で学習支援等を行う筑西寺子屋制度の立ち上げを教職員OBやボランティア団体等と検討している。この取り組みがスタートした時、活動の場の提供と光熱費等の補助を市にお願いできないか。

【教育部長】

我が国の子供の総体的貧困率は16・3%、6人に1人が貧困世帯という調査結果がある。市は、地域と放課後における子供の居場所づくりとして、週5日制への対応、地域

他の質問

- ▼子供たちの通学路の安全対策について
- ▼高齢者・障害者の生活を守るコミュニティバスの運行について
- ▼市民ボランティア・NPO支援制度について
- ▼筑西市の魅力売り出すアイデアの創造について



子供教室の推進事業などに取り組んできた。今年度は小学6年生、中学1年生を対象とした土曜学習を開催している。お尋ねの寺子屋制度の事業構想が示されれば関係機関と調整・連携を積極的に図り、支援してまいりたい。

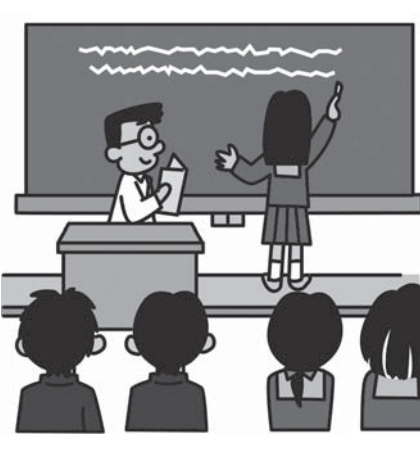
問 明日を担う子供たちの学習塾「筑西寺子屋」への支援は
答 関係機関と調整し支援したい



【議員】
政府が立てた教育振興基本計画の中に、中学校、高校の英語力向上が上げられている。その中で英語教員に求められる英語力は、英検準1級、TOEFL 80点、TOEIC 730点程度以上の英語教員の割合が中学校で50%、高校で75%とされた。昨年12月の文部科学省の調査によると2014年の全国平均は高校で55%、中学校で28%であり、目標にはほど遠い結果が出た。参考までに中学校で1位は福井県49・4%、2位富山県48%、3位東京都44・6%、高校で1位は福井県86・3%、2位が香川県82・4%、3位が富山県79・9%である。これからオリンピックも開かれる。世の中も大変グローバルになり、英語教育は非常に重要になってくる。そこで、本市の英語教員の現状は。

【教育部長】

本市英語教員においては、中



【議員】
学校に勤務する英語免許所持者25名中2名、小学校勤務で英語免許所持者37名中1名、市内小中学校合わせて3名の教諭が該当する。割合については、非常に低い割合で4・8%となっている。

問 国の教育振興基本計画に示された英語教員資格取得割合は62名中3名（4・8%）の教諭が該当
答



問 土曜日午後の保育を実施できないか
答 7月1日から実施する



【議員】

パート勤めの親から、子供が通園している公立の保育園は土曜日の午後は保育を行っていないため、子供をあずけられず、正社員になりたくてもなれないとの相談を受けた。ついでに、土曜日午後の保育を実施することはできないか伺いたい。

【保健福祉部長】

お尋ねの公立保育園は保育士の募集をしても応募者が無く、対応できなかつたが、保育士のシフトを見直し、7月1日から土曜日午後の保育を実施する。

【議員】

放課後児童クラブは希望者全員が利用できるのか。

【保健福祉部長】

子ども・子育て支援制度の改正により、対象児童が小学校3年生から6年生まで拡大された。利用申し込みについては、低学年を優先している。

【議員】

放課後児童クラブは民間委託しているが、事故が起こった場合、責任は誰がとるのか。

【保健福祉部長】

放課後児童クラブは、市が運営を委託していることから、市の責任となるが、事故等が起きないように十分注意し、日々の運営に当たるよう指導している。また、事故・けが等に備えて、損害保険の加入を児童クラブに義務づけている。



他の質問

- ▼ スピカビル改修について
- ▼ 現本庁舎跡地利用について
- ▼ 新中核病院について
- ▼ 道路交通法の改正に伴い通学指導について

問 コミュニティバスの運行はできないか
答 地域公共交通網整備計画等の中で検討していく



【議員】

デマンドタクシーの利用状況は。

【企画部長】

利用者は平成25年度3万7,828人、平成26年度3万7,715人である。

【議員】

数字的に伸びていないが、利用を促す工夫をしているのか。

【企画部長】

利用方法がわからない方もいるので具体的な事例を加えた効果的でわかりやすい広報を心がける。また、実施主体である日専連しもだてのネットワークを生かした新たな事業展開の協議もしていきたい。

【議員】

運行事業者数、運行車両台数の現状は。

【企画部長】

運行事業者は7事業者、運行車両台数は10台である。

【議員】

苦情に対する運行事業者への指導は。

【企画部長】

協同組合日専連しもだてと連絡をとり、対応についてお願いしている。

【議員】

交通弱者や高齢者から強い要望の声がある、コミュニティバスの運行ができればと考えるがいかがか。

【企画部長】

今年度から策定を進める地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画の中で、検討していきたい。



他の質問

- ▼ 安全で快適なまちづくりについて
- ▼ 職員の窓口対応について

問 新中核病院に研修センターの機能を整備する方向で努力していきたい



問 消防団協力事業所に対して入札時に加点する制度はあるか
現在のところ加点制度は設けていない



【議員】

新中核病院は医師確保がしつかりとできる、安定してできる病院としなければならぬ。一番の決め手は医師が喜んで集まってくる病院となる仕掛けをつくっておくことである。北茨城市では地域医療の研修センターを整備したが、本市ではどう進めるのか。

【市長】

医師・看護師確保は非常に大切であると考えている。関係する医科大学や医療機関と連携し、研修プログラムの充実を図り、臨床研修指定病院を目指していきたい。

【議員】

臨床研修指定病院だけで満足してはいけぬ。積極的に医師を育成していく機能の強化が必要だ。臨床研修センターを整備すれば、指導医がくる。よって若い医師も腕を磨け、研修プログラムも整い、資格も取っていける。これは医師確保に

とって大きなマグネットとなる。神栖市では、地域医療研修ステーション設置事業として、950万円を予算化し、筑波大学に委託している。本市でもやっていたいただきたい。

【市長】

関係各位のご協力をいただき、整備する方向で努力していきたい。



他の質問

- ▼ 新中核病院の医師確保について
- ▼ 中小企業振興条例の制定について
- ▼ 攻めの学校給食について
- ▼ デマンドタクシーについて
- ▼ 教育予算について

【議員】

当市の消防団の水防訓練が500人からの団員の参加で行われた。私も拝見したが、大変心強くありがたく感じた。当市の消防団のサラリーマンの割合は、5割以上である。サラリーマンは、日中の災害等で、仕事を抜けづらい。夜中の出勤は次の日の出勤に差し支える等のことから、消防団の団員の確保が重要と思われるが、消防団員の条例定数を伺いたい。

【市民環境部長】

条例定数は876人、現在の団員数は841人で35人不足している。

【議員】

他県では、事業所が消防団との連携を図り消防団活動へのより一層の理解を深め、従業員の消防団加入への協力や消防団員に対する不利益な扱いの防止のため、消防団協力事業所に対し入札に加点制度を導入したところ、協力事業所

が倍増した報告がある。当市は入札時の加点制度はあるのか。

【総務部長】

現在のところ、消防団協力事業所に対しての加点制度は設けていない。

【議員】

加点制度は設けていないとのことだが、市民の命や財産を守るため、消防団の方は一生懸命頑張っている。それを応援し、協力事業所を増やすためにも、加点制度を設けると消防団に関する理解も高まると思うので、考察願いたい。



他の質問

- ▼ 子育て支援について
- ▼ 空き家対策について
- ▼ スピカビルについて
- ▼ 教育行政について
- ▼ 道の駅整備事業について

問 道の駅の経営はどういった運営体になるのか
答 最も適切な管理運営形態を検討したい



小島議員

【議員】平成32年度オープン予定の道の駅はどういった組織が経営体、運営体となるのか。

【企画部長】今年度策定する、道の駅の基本構想及び基本計画の中で検討する。想定される管理運営形態のメリット、デメリット等を精査し、最も適切な運営形態で行って参りたい。

【議員】財政支援をしながらの運営を想定しているのか。また、建設費用のうち借金部分の返済財源はどこから出すのか。

【企画部長】

財政支援をしながらの運営は想定していない。返済については、合併特例債で計画しているため交付税措置がある。

【議員】

公設運営は民間の商業施設と違い、初期投資費用の回収義務がなく、経営が甘くなりがちである。過剰投資、高経費体質になっていないのかを

市は注視していく必要があると思うがいかがか。また、経営責任の明確になるような体制ができていくのか。

【企画部長】

健全な経営が行える体制をつくるのが絶対条件と考える。また、責任の明確化も必須と考えている。



他の質問

- ▼地方創生における人口ビジョンと駅南地区構想について
- ▼介護事業者の不正請求への対応について
- ▼入札制度について
- ▼筑西幹線道路と新中核病院について
- ▼再任用制度について

問 妊婦への「きずなメール」を導入できないか
答 導入について真剣に考えている



尾木議員

【議員】

少子化対策の一環として、産前産後ケアの充実が大きな課題となっている。ここで、妊婦への「きずなメール」の導入を提案させていただきたい。きずなメールはNPO法人きずなメールプロジェクトが配信しており、複数の専門医の監修のもと、本当に信頼性・信頼性があり、例えば妊娠中のおなかの中の赤ちゃんの成長過程や、妊娠・出産・育児の基礎知識に加え、自治体の子育て支援の情報も併せて配信できるものである。現在は核家族化が進み、子育て中や妊娠中の若いご夫婦は心配事があってもすぐに相談できず、また、育児ストレスや産後のホルモンバランスの変化等により妊産婦の約1割が産後うつを発症すると言われている。産後うつは子供への虐待といった大きな問題につながりかねない。情報を配信することで、それを見て安心

できるといふメールなので、ぜひ導入していただきたい。

【市長】

現在、市では母子健康手帳の交付を初め、マタニティクラス事業、要支援妊産婦支援事業、親支援グループミーティング事業等、一人ひとりの妊婦等の個別の支援を大切にしている。導入についても真剣に考えていきたい。



他の質問

- ▼医療福祉費支給について
- ▼空き家対策について
- ▼認知症対策について
- ▼学校でのがん教育について

問 医療が一つの形になって地域医療連携だと思いがいかかか機能分担を意識した地域医療を進めていきたい



藤川議員

【議員】 市民病院は現在訪問看護をしているとのことだが、実績を伺いたい。

【市民病院事務部長】

訪問看護は平成9年から取り組んでいる。当初は市民病院の入院患者が自宅で療養したいとのことから始まり、訪問看護師の組織拡充、在宅療養支援病院の資格を取得して力を入れていく。平成26年度は、月当たり100回の訪問看護実績がある。

【議員】

市民病院は相談業務、他の病院を紹介したり、されたりと地域医療連携をしているが、これからの地域医療再生としては、高度急性期を筑波大学病院や自治医科大学病院、筑西市が目指す急性期、桜川市が担うであろう回復期、民間開業医や民間病院の慢性期がある。しかしながら、リハビリ、訪問介護の終末期ケアができる施設がない。新中核病

院ができて2次医療は完結しても、民間病院、包括ケア病院、病棟、救急必要性のある病院が、全体として一つの形になって地域医療が完結すると思うがいかかか。

【市長】

市内にある77の診療所及びクリニックの1次医療、現をつくろうとしている病院の2次医療、自治医科大学附属病院及び筑波大学附属病院の3次医療、全てがこの地域の方々を守ることになるので、今後も機能分担を意識した地域医療を進めていきたい。



他の質問

▼公共交通の利便性について
▼ふるさと納税について
▼地域交流センター(アルテリオ)の活用について
▼空き家対策について

問 下館駅にSLの転車台を経済効果を考え前向きに検討していきたい



増淵議員

【議員】 SLを使った観光を一層進めるため、下館駅にSLの転車台を設置してはいかかか。

【市長】

真岡駅と茂木駅の構内には転車台がある。下館駅にも設置されれば、ディーゼル機関車による牽引が不要になるだけ得ると考える。しかし、以前SLを保有する真岡線SL運行協議会やSLの運行を受託している真岡鐵道に要請したが、設置に必要な用地の確保が困難なために、難しいという結論であった。

【議員】

場所については何もしなければ難しいと思うが、下館駅には場所の余裕はあると思う。転車台ができれば、SLが回転するシーンが観光となり、子供たちも一緒に転車台に参加できれば、貴重な体験となる。真岡鐵道もディーゼルで引

かなくて済み、経費の削減にもなる。今ある貴重な財産「SL」を生かし、この地域をPRして観光振興を図りたい。ぜひJRを含め場所の交渉をしていただきたいが、いかかか。

【市長】

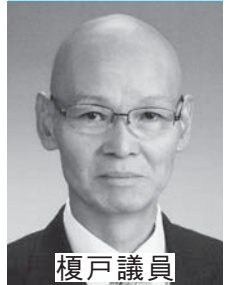
今後は、観光以外でも経済効果を挙げる方策を考える必要があると、常々思っている。真岡駅の転車台は土地代含めて1億円かかったと聞いていて、金額もしっかり見きわめて、前向きに検討していきたい。



他の質問

▼ちつくんスーパープレミア
ム商品券について

問 今後6年サイクルでパソコンの入れかえを行うのか
答 今後6年サイクルでパソコンの入れかえを行うのは節約しながら計画的に入れかえてい



問 空き家対策として不動産業界とタイアップしてはどうか
答 来年度の空き家対策計画策定に当たって参考にす



【議員】

教育予算で今年度も五千万円以上のパソコン教室機材の入れかえをするという。果たして6年サイクルで本当に機材等全て入れかえる必要があるのか。6年位で入れかえとは民間では到底考えられない。また、使用可能な機材はあるはず。業者主導の入れかえから、行政主導にし、節約を望む。ある小学校のバスケットボールのゴールボードはペンキすら塗られていない状態である。同じ教育予算ではないか。

【教育長】

国のICT戦略が早いスピードで動いているが、行政主導で節約できるところは節約しながら計画的に入れかえを行っている。

【議員】

小中学校の部活動等で県大会や全国大会に教育委員会では助成しているが、予算が足りずPTAが中心になり、1

戸五、六百万円の寄附を募るなど大変苦慮しているとの話を聞いているが助成金を増額できないのか。

【教育長】

基本的には今の規程で対応したい。

【議員】

小中学生が部活動等で、県大会や全国大会に行くことは大変なものである。パソコン教室に年間何千万円も使う教育予算の中に、全国大会等の助成金を増額できるような配慮が欲しい。



他の質問

▼ 企画行政について
 ▼ 企業誘致推進局について

【議員】

今まで空き家対策はどのようにとってきたか。

【市民環境部長】

相談があった件については、所有者と話をしたり、また所有者と会えなかった場合には文書等で改善のお願いをし、りしてきたところである。

【議員】

問題となるのは所有者がいない、相続を放棄された案件だと思いが、そういったものに対してはどうか。

【市民環境部長】

第一義的に責任があるのは所有者と管理者なので、まずは所有者と管理者の間で協議をしてもらう。特定空家等と認められる場合で、所有者、管理者がいない場合には、略式代執行の手続きを進めるしか方法がないと認識している。

【議員】

仮に代執行をしても回収できる見込みが非常に低く、税金を使って代執行ばかりする

わけにいかない。非常に苦慮されるところと考える。空き家にならないための対策として、今後、地元の宅建協会等不動産業界とタイアップして話を進めていく考えはあるか。

【市民環境部長】

来年度の空き家対策計画の策定に当たっては、議員の意見を参考にし、計画を考えていきたい。



他の質問

▼ 新中核病院について
 ▼ 市民病院について
 ▼ のり愛くんについて
 ▼ 議員定数削減について